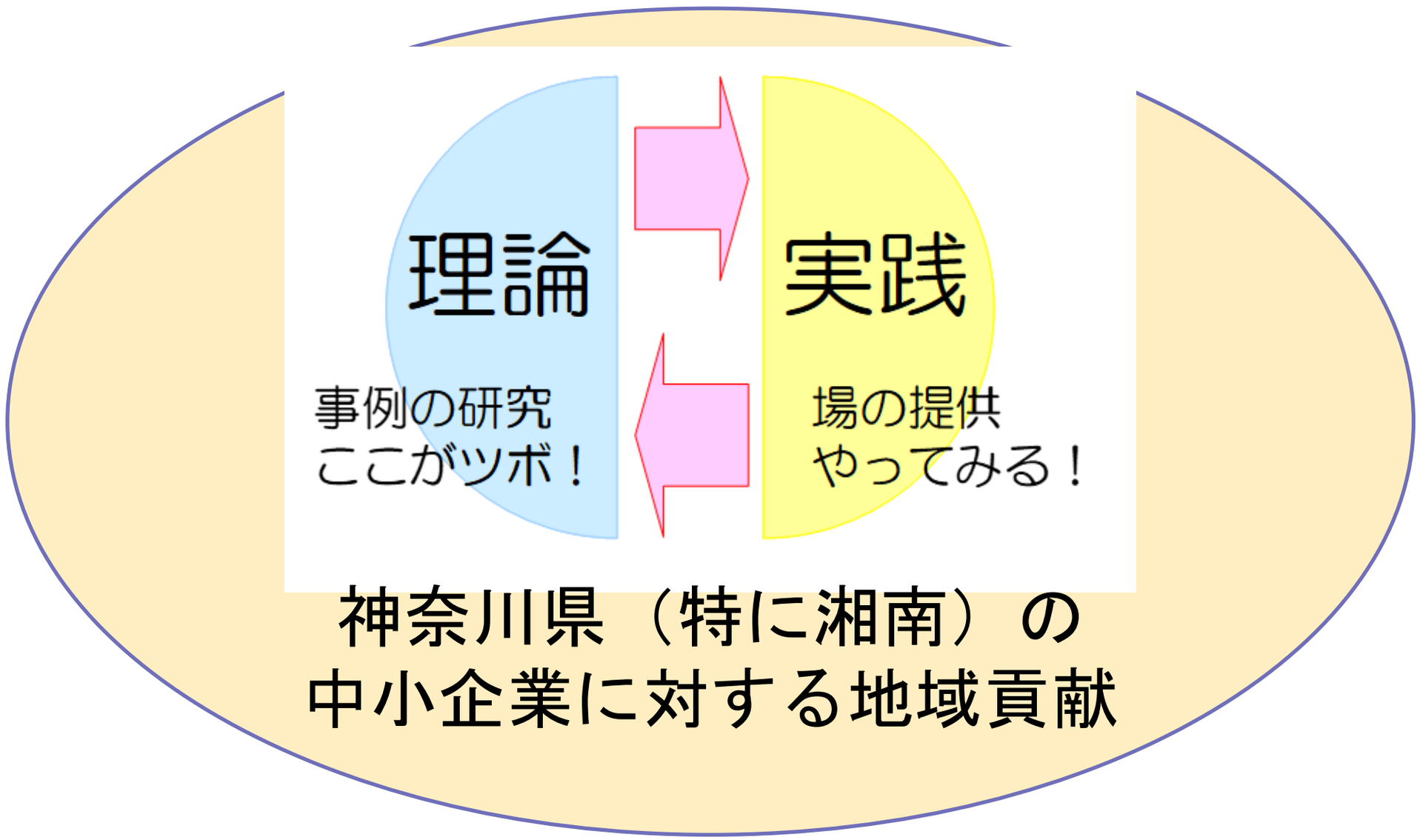
湘南診断士ネット
2022年度事業計画

事業の基本‥2022年度も継続・レベルアップ

自主的な相互研鑽による理論の深化と
実践を通じて地域に貢献する



2022年度事業計画

1. 定例会
2. チーム活動
3. 外部講師
4. 展示会出展
5. 定例会のコンテンツ

2022年度事業計画

1. 定例会
2. チーム活動
3. 外部講師
4. 展示会出展
5. 定例会のコンテンツ

1. 定例会

毎月１回（日曜日の夕方）
対面※とオンラインZOOMを併用する。
　※７月まで：かながわ労働プラザ
　　９月以降：県民センター
主な内容
・会員によるご講演
・ワークショップ：中小企業支援事例を研究
・分科会の活動報告

2022年度定例会企画（案） ８月と12月は会員間の親睦を深める懇親会

2022/4	5	6	7	9	10	11	2023/1	2	3
新入会員の講演	新入or既存会員の講演	新入or既存会員の講演	新入or既存会員の講演	新入or既存会員の講演	新入or既存会員の講演	新入or既存会員の講演	新入or既存会員の講演	新入or既存会員の講演	講師チームからの勧誘
会の方針（会長）	今年度活動計画＆予算	企画テーマ？	企画テーマ？	企画テーマ	ワークショップ	企画テーマ	ワークショップ	企画テーマ	ワークショップ
会の年間活動報告、既存会員による活動紹介		分科会発足	ワークショップ			会の方針（南部）			分科会の活動報告

2022年度事業計画

1. 定例会
2. チーム活動
3. 外部講師
4. 展示会出展
5. 定例会のコンテンツ

2. チーム活動

目的：
中小企業における経営課題について研究することにより、湘南を中心とした神奈川県下における中小企業の活性化に役立つ知見を蓄積し、参加メンバーのスキルアップを図る（参加は自由）。

(1) 分科会活動

① 分科会のテーマについて

i. デジタルマーケティング（継続）

- デジタルマーケティングの手法の研究、中小企業への支援・報告

ii. 中小企業におけるセキュリティ（新規）

- 中小企業のサイバーセキュリティ対策の実態や対応方法等についての研究

iii. 中小企業における脱炭素化支援（新規）

- 中小企業における脱炭素化の取り組みについての研究

2. チーム活動

(1) 分科会活動（続き）

② 今後の進め方

i. 担当サポーターがメンバーを募集するので、ご興味のある分科会に応募して下さい。

ii. 各分科会において、テーマの詳細、スケジュール等について検討し、活動を開始して下さい。

iii. 各分科会には活動費の補助金があります。

(2) 業界研究

① メンバーの皆さんのバックグラウンドをもとに、業界ごとに分けさせていただきますので、それぞれ業界における主要なプレイヤー、現在の競争環境、今後の経営課題等についてのプレゼンをお願いします。

② プレゼンの依頼は別途行います。

【新規分科会】①中小企業のセキュリティ 分科会

◆背景：

年々、サイバー攻撃の手口が巧妙化しており、次々に新しいものが生まれています。大企業は、お金をかけて対策を行なっているところが多く、サイバー攻撃を仕掛けることが容易ではありません。そのため、**サイバー攻撃の標的が、大企業から中小企業にシフト**しつつあります。

しかし、中小企業におけるセキュリティ対策の優先度は最下位。これまで「うちのような小さい企業には関係ない」と思っていた中小企業も、しっかり対策しなければならない時代になりました。中小企業はどのようなセキュリティ対策から始めればよいのでしょうか？将来、大きな被害が出てからでは遅く、莫大な賠償金や企業の信頼低下につながりかねません。そこで、分科会で、中小企業のサイバー攻撃の実態を把握し、事例や対策について調査を行うことで中小企業向けセキュリティの理解を深めることを目的とします。

◆活動ステップ案：

①**現状を理解する**

経済産業省やIPAが公開している公開情報を元に、中小企業のセキュリティの現状をまとめ、内容を把握します。

②**課題を抽出し、対策を提言する**

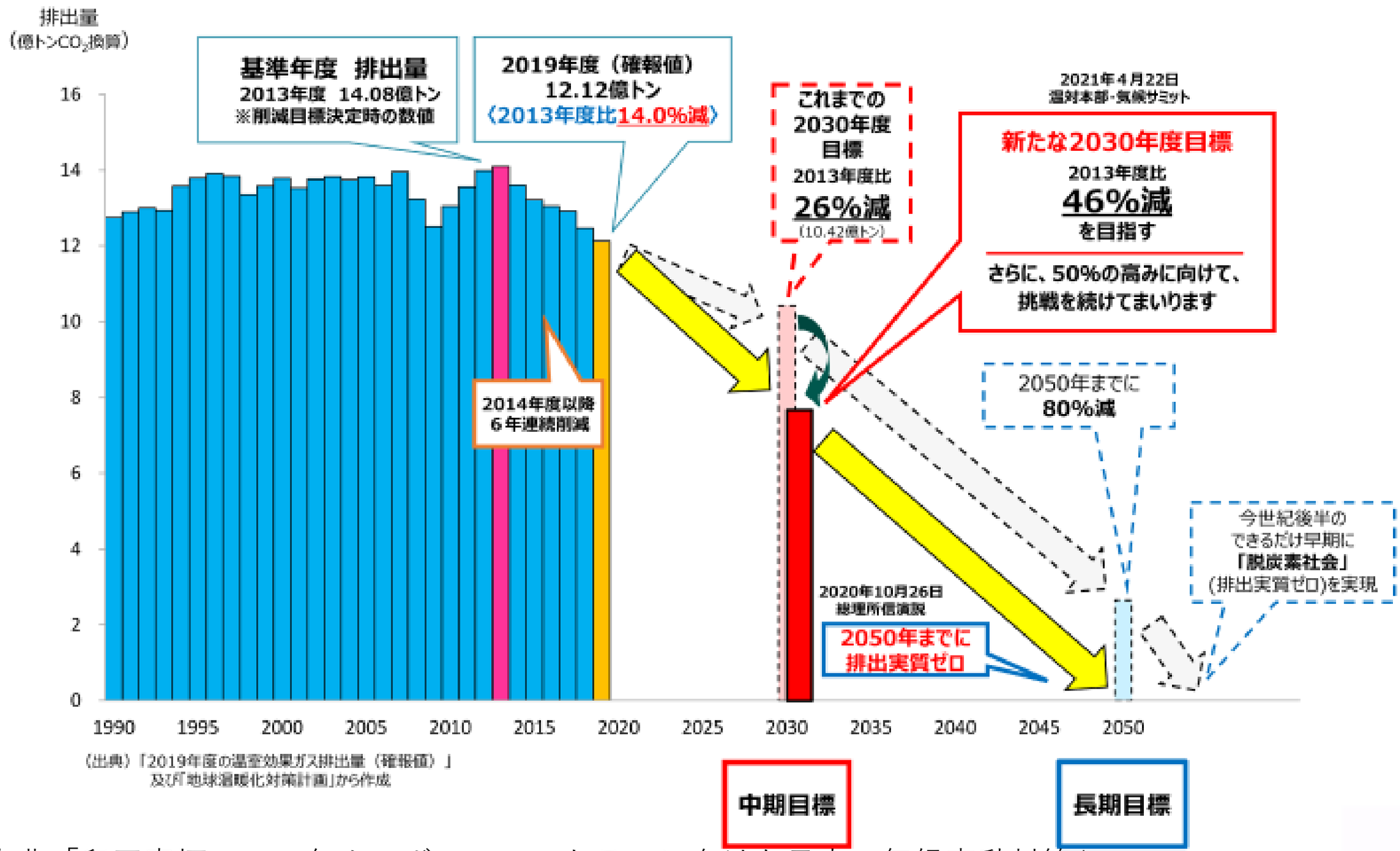
現状を踏まえたうえで、どのような課題があり、どのような対策を行うべきかを提言します。

③**調査結果報告**

調査結果をまとめ、報告します。

【新規分科会】②中小企業における脱炭素化支援

温室効果ガス削減に向けて、世界的な取組が広がっており、日本においても2050年までにカーボンニュートラルを達成すべく取り組みが加速している。
大企業中心の取組から中小企業にもその影響は拡大しており、対策は避けられない。



出典「和田憲拓　2050年カーボンニュートラルに向けた日本の気候変動対策」

【新規分科会】②中小企業における脱炭素化支援

日立、サプライチェーンで脱炭素、800社に「削減計画」要請

2021.10.13
馬場 未希（日経ESG編集長）

日立は2050年度までに調達先を含む温室効果ガスの排出をゼロにする。サプライチェーンの脱炭素化がグローバル企業の条件になりつつある。

日立製作所は2021年9月13日、調達先を含むサプライチェーン全体で温室効果ガス排出量を50年度までにカーボンニュートラル（実質ゼロ）にすると発表した。日本の大手企業でこうした例は限られる。

20年、日立の事業所と工場での生産による排出量を30年度までに実質ゼロにする目標を策定。社内炭素価格（カーボンプライシング）制度で省エネ設備の導入を促し、再生可能エネルギーを活用する。既に20年度時点で3つの事業所で実質ゼロを達成した。21年2月には10年間で840億円を投じると発表した。

出典：日経ESG

Apple、トヨタ、ソニー等、グローバル企業にて、自社製品のサプライチェーン全体の脱炭素化をはかる動きが加速しており、脱炭素化の中小企業の経営への影響が格段に増してきている。

【新規分科会】②脱炭素化支援の取組イメージ

最終目標：特定企業への具体的脱炭素化支援
計画策定、効果の試算、具体的脱炭素施策の提案、企業PR、資金調達への活用、民間イニシアティブへの参加　etc

＜分科会での調査事項＞

・中小企業の脱炭素化ニーズ
・温室効果ガス排出量の測定方法
・民間イニシアティブ（RE100 、SBT等）
・脱炭素化の手法（再エネ活用他）
・資金調達、支援制度他
・中小企業の取組み事例調査（特定企業への取材含む）
※SDGs分科会との棲み分けは必要

2022年度事業計画

1. 定例会
2. チーム活動
3. 外部講師
4. 展示会出展
5. 定例会のコンテンツ

3. 外部講師招聘セミナー

目　的：① 会員の知識向上、スキルアップに貢献する
② 当会の地域貢献のブランドイメージ向上に貢献する
③ セミナー運営（Web配信含む）のノウハウを蓄積する

対　象：当会会員、神奈川県協会会員
（将来は、地域の事業者や一般市民もフォーカスとする）

講　師：当会の活動方針（相互研鑽・地域貢献）に繋がる講師を
探索していく

日　程：2022年11月下旬～12月上旬頃

会　場：未定（湘南地区の公共施設を中心に調査中）

運営方式： リアル＆オンライン

お願い：企画が具体化した段階で、実行委員を公募しますので
会員各位のご協力をお願いします

2022年度事業計画

1. 定例会
2. チーム活動
3. 外部講師
4. 展示会出展
5. 定例会のコンテンツ

4. 展示会出展

- 湘南ひらつかテクノフェア終了
  - 平塚商工会議所主催の展示会としては、今後の開催予定無し
  - 平塚商工会議所の会員企業は、テクニカルショウヨコハマへの団体出展の形式に移行する

- 今後の活動
  - 方針である「地域貢献」の実現に合致する行政との繋がり方を探索する（平塚以外の展示会、催事への参画など）

2022年度事業計画

1. 定例会
2. チーム活動
3. 外部講師
4. 展示会出展
5. 定例会のコンテンツ

2022年度事業計画

5. 定例会のコンテンツ

以下の２つのコンテンツの在り方

①会員によるご講演
②ワークショップ（スキル向上ワーク）

湘南診断士ネット
2022年度事業計画

終わり